

第5回検査標章の視認性向上検討会 議事概要

1. 日 時：平成27年12月17日（木）10：00～11：30
2. 場 所：航空会館901会議室
3. 出席者：田宮委員、青木委員、阿山委員、安藤委員、榎本委員、川端委員、橋本委員、矢口委員
4. 議事（概要）

事務局より報告書（案）について資料を用いて説明を行い、各委員から質疑等が行われた。質疑等の後、提案された報告書（案）について各委員より了承が得られ案のとおりとりまとめられた。

（委員等からの主な質疑及び意見）

- 現行の検査標章と新しい検査標章を比べると背景色やデザインの部分で、変わり映えしないため、外部の者に今回変更したということが伝わりにくいのではないか。配置位置による識別のデザインは、配置2や配置3の方が優れているのではないか。
- 今回の検討において、背景色の違いによる識別についても検討したが、結果として背景色は統一色とし、配置による識別のデザインが優れているとう結果となった。色による識別は、月数字を視認できるように明度を高くすると彩度が低くなるため、色弱の方に伝わりにくいものとなる懸念があったためこの様な結果となってよかったと思う。
- 変わり映えしないとの意見があったが、検査標章をよく見ている者からすると、背景色に白を基調としている点やフォントを変更している点等、現行と比較してかなり変わったという印象。当初、色による識別が見やすいと思っていたが、配置位置による識別が視認距離にほとんど差が無いことや、先ほどの色弱の方の話もあり、配置位置による識別のデザインが総合的に優れている結果と納得できるものとなりかなり見やすくなった。

（質疑に対する説明）

- 背景色の選定は、一般の方の検査標章のイメージを重視し、軽自動車は黄色、登録自動車が水色というイメージであることから水色とした。さらに、背景色の明度を上げて視認性を向上させるデザインとした。配置2と配置3については、年配置位置によると優れているが、月配置位置によると同等であり、年数字の視認距離が優れている配置1を選定した。